

## 岐阜県警察と連携し「交通安全に関する広報開始式」を実施

～反射材・ヘルメット・シートベルトの着用を呼びかけ～

日本損害保険協会岐阜損保会（会長：原 誠行 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 岐阜支店長）では、岐阜県警察と連携し、12月14日（木）にJR岐阜駅前で、「交通安全に関する広報開始式」および啓発活動を実施しました。

岐阜県は、人口10万人当たりの交通事故死者数が全国ワースト2位（令和4年中）であり、死者75名のうち、45.3%が自動車乗車中、46.7%が歩行中・自転車乗用中の死者で、18時～20時の死亡事故が最も多い状況です。この状況を改善すべく、岐阜県警察と連携した啓発活動を実施することとし、夜間外出時の反射材・自転車ヘルメット・乗車時のシートベルトの着用を呼びかけるチラシおよび靴用反射シールを作成しました。

それらツールを用いた啓発活動のキックオフイベントとして開催した「交通安全に関する広報開始式」では、原損保会長と岐阜県警察本部山田交通企画課長からチラシの披露があり、原損保会長からは「岐阜県は交通事故防止の働きかけが必要な局面になっている。岐阜県警と連携した啓発活動等を行うことで県内の交通事故・死亡事故の減少に寄与したい。」、山田交通企画課長からは「例年、年末年始にかけて夜間の歩行者の事故が増加する。自分の身は自分で守るという意識を高める必要があり、今回のチラシはその目的に合った内容である。交通事故ゼロを目指して、チラシ等による啓発活動を続けたい。」との挨拶がありました。

式終了後は、岐阜県警察本部・岐阜中警察署のほか、岐阜市役所にも協力いただき、信長ゆめ広場で、チラシの配布や来場者の靴に反射シールを貼る啓発活動も実施しました。

当支部では、今後も岐阜県警察ほか関係機関と連携し、交通事故防止活動を行ってまいります。



<信長ゆめ広場でのチラシ披露>



<原損保会長の挨拶>



<山田交通企画課長の挨拶>



<チラシ・反射材による啓発の様子>

